



## 日本マイクロソフト株式会社と連携に関する協定を締結

令和4年5月20日(金)、本学と日本マイクロソフト株式会社との間で連携に関する協定を締結しました。本協定は、国立大学法人香川大学及び日本マイクロソフト株式会社がICTを含む先端技術の活用等を通じ、DX推進による大学改革、地域活性化及びDX推進人材育成を目的として締結したもので、①DX推進人材育成、②DX推進による大学改革、③DX推進による地域活性化について協力していくこととしています。締結式では、香川大学の寛善行学長と日本マイクロソフト株式会社の佐藤亮太執行役員常務の挨拶の後、香川大学の八重樫理人情報メディアセンター長による協定に関する取組の概要説明が行われました。概要説明の後に、双方の代表によって協定書にサインを行い、この連携協定により、双方の連携関係を深めて、DX推進人材育成などを目指して取組を進めていきます。



## ネクストプログラム・グローバル人材育成プログラム 派遣学生の留学に係る社行会・懇談会を実施

令和4年6月1日(水)、「ネクストプログラム・グローバル人材育成プログラム(英語コース・中国語コース)」派遣学生の社行会・懇談会を開催しました。コロナ禍により留学が中断していたため、2年2ヶ月ぶりの社行会開催となりました。今年度は(カリフォルニア州立大学フラトン校3名、国立政治大学4名、中国文化大学1名、真理大学2名)計10名の派遣学生が留学します。寛学長から、自分の中の情熱に気づく良い機会になるので、元気で頑張ってきてもらいたいと学生に向け激励の挨拶がありました。留学する学生からは、「コロナ禍の影響で一時は断念しかかったが、再び機会を与えていただけたことに感謝したい。世界との架け橋になれるような人材になりたい。」と、留学に対する抱負が述べられました。経験のある教員への質問や、英語・中国語による留学生活に対する決意表明等、終始和やかな雰囲気で行われました。

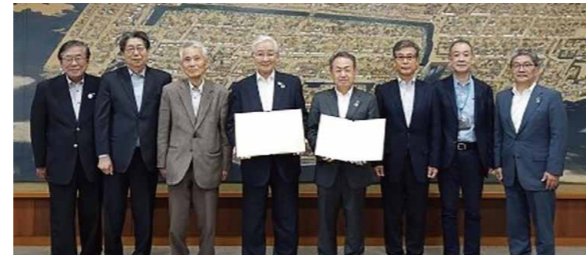
## 四国国立5大学と国土交通省四国地方整備局との 防災・減災・復興に係る包括連携・協力に関する協定を締結

令和4年6月30日(木)、「四国国立5大学と国土交通省四国地方整備局との防災・減災・復興に係る包括連携・協力に関する協定」の締結式を行いました。当協定は、四国内の国立5大学である徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学と四国地方整備局の包括的かつ持続的な連携と協力により、地震や津波、集中豪雨などの災害に対する防災・減災・復興に係る研究を推進し、地域の安全と安心に貢献するとともに、地域社会の形成、発展に寄与することを目的としたもので、連携・協力事項は以下のとおりです。



1. 防災・減災・復興に係る人材育成及び啓発
2. 防災・減災・復興の研究
3. 四国内で発生した大規模災害に係る高度で専門性のある調査
4. 相互が目的達成のため必要と認めて合意した事項

この度の協定締結が災害に強い四国のつくり、社会づくりに貢献し、持続可能な四国地方の発展に繋がるよう努めていきます。



## 公益財団法人松平公益会と中野武営の デジタルアーカイブ事業に関する覚書を締結

令和4年5月12日(木)、香川大学と公益財団法人松平公益会との間で、中野武営のデジタルアーカイブ事業に関する覚書を締結しました。「香川県独立の父」と呼ばれる中野武営については、その知名度や功績の認知が高まりを見せており、同時に、中野武営や氏に関連する資料や情報が整理され、誰でもいつでも閲覧できる拠点整備の必要性が高まっています。本覚書締結を契機として、両者が連携・協力し、中野武営に関する資料をはじめ、近世後期から近代、現代に至る郷土香川県に係る文献、地図、写真などの一次資料を、香川大学の持つ時空間情報を中心とした新たなタグ付け技術を用いてデジタル化、アーカイブ化していく予定です。今後、この事業を推進することで、郷土の資料の体系的な保存の実現に向け、前進することが期待されます。

## 金融庁中島長官と公益社団法人日本証券アナリスト協会 神津専務理事が香川大学金融人材養成セミナーで講演

令和4年5月25日(水)、金融庁中島長官、公益社団法人日本証券アナリスト協会神津専務理事を招いて、香川大学金融人材養成セミナーが開催されました。香川大学は、近年金融人材の養成に注力しており、中島氏及び神津氏を招いてのセミナーが実現しました。当日は、学部・研究科を超えた教員ら210名が集まり、中島氏の基調講演「金融の楽しさ、大切さを学ぼう」に熱心に耳を傾けていました。また、基調講演後には、中島氏と神津氏との対談「プロ金融人材の育成について」も実現しました。基調講演と対談後、学生との質疑応答もあり充実したセミナーとなりました。



## あいおいニッセイ同和損保株式会社 新納(にいろ)社長 大学訪問

令和4年6月17日(金)、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 新納啓介(にいろ けいすけ)代表取締役社長他3名が、本学を表敬訪問しました。本学、MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、平成31年3月に相互の連携・協力を強化し、地域の発展に寄与するために、地域活性化に資する研究交流、人材交流などのうち相互の協力が可能な分野において、具体的な協力を有機的に推進していくことを目的として、連携・協力に関する協定を締結しており、現在、協定に基づき、MaaS(Mobility as a Service)に関する共同研究を実施しています。新納社長は、本年4月の社長就任後初めての香川訪問にあたり寛学長を表敬訪問、その後、学内研究の紹介として、はじめに創造工学部鈴木桂輔教授より共同研究に関する発表があったのち、同学部石丸伊知郎教授、岡崎慎一郎准教授より赤外分光イメージングに関する発表がありました。その後の意見交換・質疑応答では、多様な質問が飛び交い、有意義な時間となりました。最後に記念撮影、イノベーションデザイン研究所新棟の施設見学を行いました。



## 公益財団法人 高松市スポーツ協会と連携協定を締結

令和4年3月16日(水)、香川大学と公益財団法人高松市スポーツ協会は連携協定を締結しました。本協定は、「ダイバーシティによる三世代のスポーツ交流・推進」をテーマに、香川大学が持つ知見と高松市スポーツ協会が持つ資源の相互活用を行うことにより、高松市におけるスポーツの普及・振興、市民の健康増進と体力向上を図り、活力ある地域社会の形成に寄与することを目的としています。スポーツ文化の活性化・発展、スポーツ活動による人材育成・交流の推進、スポーツによる生涯学習・地域貢献、の3つの事項を中心に、地域におけるスポーツ振興、交流、推進を図ることとしています。本協定の締結を契機に、地域のスポーツの交流の輪を広げていくとともに、地域の皆様のスポーツへの関心や健康増進に繋がる幅広い取組を推進していきます。



## 「大学・地域共創プラットフォーム香川」の設立総会を開催

令和4年3月28日(月)、「大学・地域共創プラットフォーム香川」の設立総会を開催しました。「大学・地域共創プラットフォーム香川」は、香川県内の大学、短期大学及び高等専門学校を基盤に、地域の各主体が知見を共有し、連携してこれからの地域を支える観点から、産業界(各経済団体)、行政(県及び8市9町)等を加えた産官学のネットワークを形成し、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場の形成に向けた議論と実践による共創を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的として設立したものです。具体的には、「進学・教育部会」「就職・産業振興部会」「地域活性化部会」の3つの部会において、①地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着に関する事業、②地域社会・地域経済活性化のための地域課題への対応・解決に関する事業、③地域の産業振興に関する事業、④県内大学等の教育の向上及び研究の促進に関する事業、⑤県内大学等の情報の提供・広報に関する事業などを進めてまいります。香川大学長が会長となるとともに、事務局を香川大学に設置しました。今後、「大学・地域共創プラットフォーム香川」において、高等教育の一層の向上、研究の推進とともに、地域社会の活性化に資する取組を「産官学」が一丸となって推進していきます。

## 香川大学寛善行学長が 香川県知事表彰を受賞

令和4年5月11日(水)、香川県庁において、各界で郷土発展に寄与した功労者を顕彰する「2022年憲法記念日知事表彰」の表彰式が行われ、寛学長が、多年にわたる香川大学医師会会長等として地域医療の充実発展に寄与した等の功績が認められ、医療功労の分野で受賞されました。寛学長は、2001年4月に就任した香川医科大学医学部(現 香川大学医学部)泌尿器科学教授等を経て、2017年10月香川大学長に就任後、現在も、四国唯一のI型糖尿病患者に対する脳下垂腺・腎臓同時移植実施施設である附属病院で外来診療に従事しており、長きにわたって、患者一人一人に寄り添った丁寧な医療を提供しています。特に、2001年に立ち上げた香川県臓器移植ワーキンググループ会議の座長を務め、香川県内のドナー登録啓発活動や臓器移植医療推進に尽力するとともに、2018年4月からは国立大学として全国で初めて医学部に臨床心理学科を設け、心理援助者の養成にも取り組んでいます。



## 高松地方気象台と連携協定を締結

令和4年3月23日(水)、香川大学と高松地方気象台は連携協定を締結しました。本協定は、これまで互いに培ってきた実績をもとに、包括的に連携・協力することにより、地域防災への貢献と地域社会の発展に寄与することを目的としており、①地域防災への貢献、②人材の育成と相互の研究・調査、③知識の普及啓発とデータの利活用の裾野開拓、の大きく3つの事項を中心として、地域防災の向上に向けて取り組んでいくこととしています。本協定締結により、それぞれが得意とする部分を活かして、地域防災への一層の貢献を目指していきます。



## 協和化学工業株式会社と包括的連携に関する協定を締結

令和4年4月18日(月)、香川大学と協和化学工業株式会社との間で包括的連携に関する協定を締結しました。本協定は、持続的かつ発展的に研究開発、新規事業の創出、人材交流の分野で相互に協力し、イノベーションの創出、研究開発の推進と産業の発展に寄与することを目的として、「希少糖を用いた新規研究開発」を中心とした包括的連携に関する協定を締結したものです。研究テーマの選定と推進、共同研究に参画する研究者の交流、研究活動の活性化と人材育成、その他の連携活動について連携、協力していくこととしています。締結式では、香川大学の寛善行学長と協和化学工業株式会社の木下幸治代表取締役社長が協定書にサインを行いました。希少糖研究の「知の拠点」を目指す香川大学と、医薬品メーカーとして三木町に製造拠点をもち、希少糖の医薬品メーカーとしての連携により、希少糖の医薬品利用に向けた開発研究と地域における産官学連携の拡大を推進するとともに、希少糖以外の様々な研究領域でも両者が共創し、イノベーションの創出を目指して取り組みを進めています。